

ビニールハウス肩部に雨樋を設置できる

銀河鉄道

近年突発的な豪雨が増えたことにより、単棟ハウスの間に過剰なぬかるみができ、酷いときにはハウス内に雨水が染み出してくるといった被害が出ています。

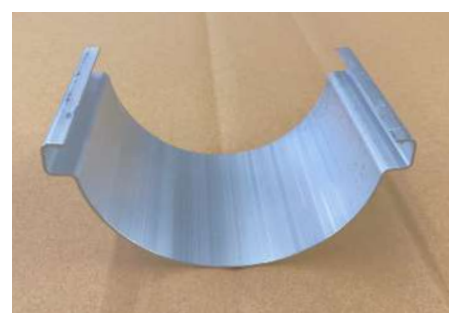
本品を使えば簡単にハウス肩部に雨樋を設置できますので、ハウス間通路に落ちる雨水を軽減することができます。

☆ 使用部品（佐藤産業製品）



銀河鉄道（アルミ 3m）

アルミ製の樋です。市販の雨どい（105サイズ）と形状が近いので、接続などに一部の市販品を使うことができます。



銀河鉄道ジョイント（アルミ）

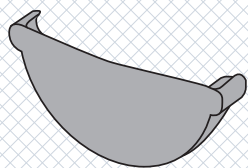
銀河鉄道を直列に連結するための継手です。継いだあとはコーキングなどの防水処理が必要です。



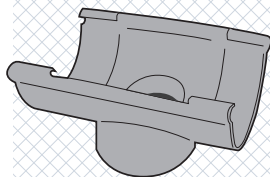
軒樋ハンガー（SUSφ2.3）

スプリング形状の側をダブルビニバーに取り付けることで、銀河鉄道を樋としてビニールハウス肩部に設置することができます。

☆ 使用部品（市販品）



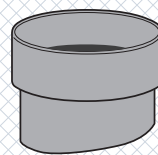
止り（サイズ 105）
樋の末端に取り付けて水の流れを止めます。



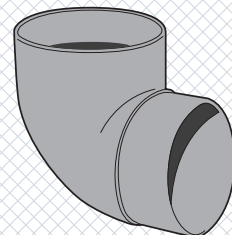
F型集水器
（サイズ 105）
雨どいからたてどいへ水を落とすための落とし口です。



たてどい（サイズ 60）
雨樋から下方に水を流すための塩ビパイプです。



たて継手（サイズ 60）
集水器とたてどいをつなぐジョイントです。



エルボ（サイズ 60）
たてどいを曲げてつなぐためのジョイントです。70°、80°、90°の3種類があります。

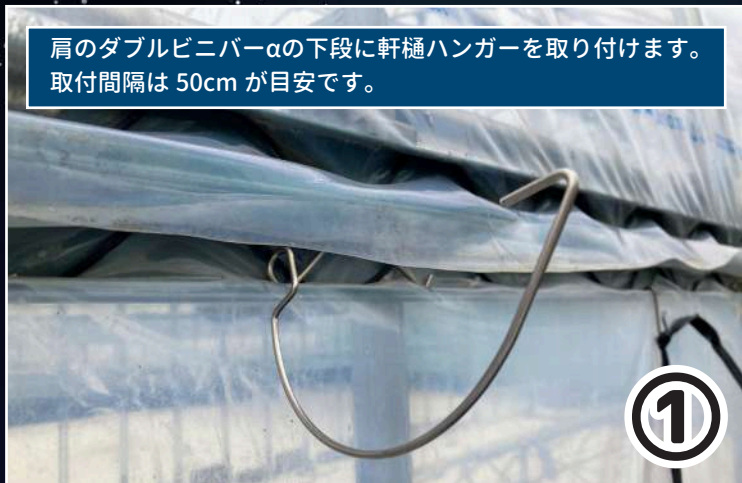
※タキロンシーアイ社製、パナソニック社製の市販品をお使いいただけます。

※佐藤産業でタキロンシーアイ社製品をご用意することもできます。

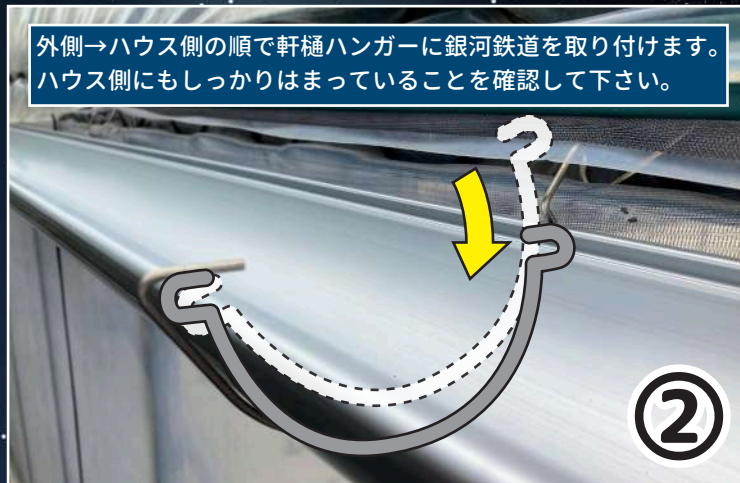


☆ 取り付け方

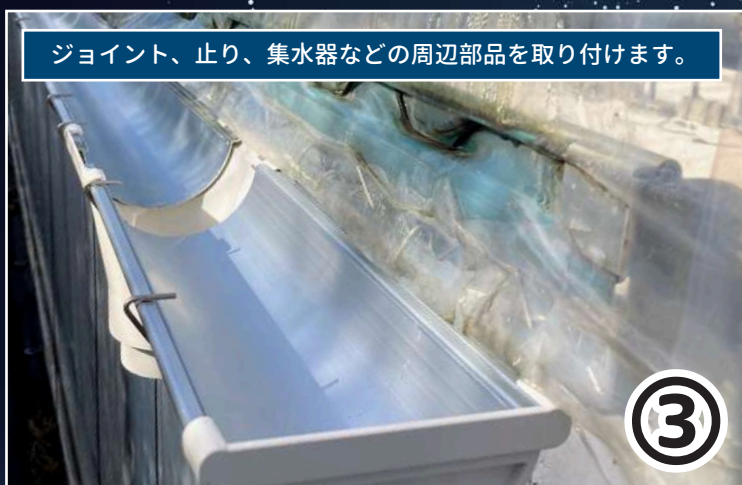
肩のダブルビニバーαの下段に軒樋ハンガーを取り付けます。
取付間隔は 50cm が目安です。



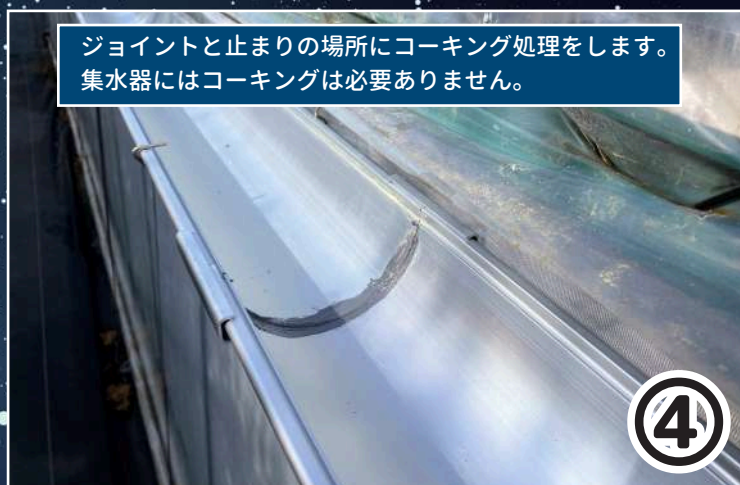
外側→ハウス側の順で軒樋ハンガーに銀河鉄道を取り付けます。
ハウス側にもしっかりとハマっていることを確認して下さい。



ジョイント、止り、集水器などの周辺部品を取り付けます。



ジョイントと止まりの場所にコーキング処理をします。
集水器にはコーキングは必要ありません。



☆ 効果の目安

間口 6m、奥行 40m のビニール
ハウスに 1/500 の片勾配で取り
付けた場合、

1時間当たり 27mm

程度の雨量まで排水できます。



☆ 動画

雨の日、排水する様子を
YouTube でご覧いただく
ことができます。



☆ 注意

- ☆ 銀河鉄道の勾配は、軒樋ハンガーを取り付けるダブルビニバーの勾配に準じます。個別に高さ調整はできません。
- ☆ 雨水を完全に受けきれわけではありません。雨の勢いや屋根側フィルムの余り長さによっては、多少の雨水が樋とハウスの間を流れる場合もあります。
- ☆ 積雪が懸念される地域、時期においては取り外していただくことを推奨します。
- ☆ 強風が予想される場合は適宜固定して下さい。